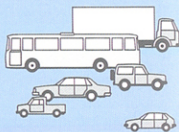


全国の道路と道路交通の実態を把握する調査です

新・道路交通センサスは、全国の道路と道路交通の実態を把握する調査であり、一般交通量調査、自動車起終点調査、機能調査、駐車調査の4つの調査で構成されています。

社会の動向・ニーズ

一般交通量調査



一般交通量調査を集計すると

- 道路や道路交通の状況がわかります
- 平日と休日の交通状況の違いがわかります
- 【道路整備の状況】^① [レンタカーの状況]^②
- 【道路の状況】^③ [道路利用の状況]^④
- 【旅行速度】^⑤ など

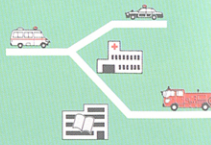
自動車起終点調査



自動車起終点調査を集計すると

- 自動車の運行状況がわかります
- 特に女性・高齢者による運行状況がわかります^①
- 平日と休日の運行状況の違いがわかります^②
- 貨物車による物流の状況がわかります^③
- 【地点間の交通需要】^④ [車の利用のされ方]^⑤
- 【複合・貫輸送の状況】^⑥ [高速道路の利用]^⑦ など

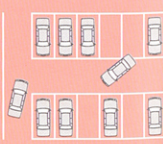
機能調査



機能調査を集計すると

- 道路の多面的な使われ方がわかります^①
- 暮らしと道路の関係がわかります^②
- 【沿道土地利用の状況】^③
- 【バス路線の状況】^④
- 【医療施設等の状況】^⑤ など

駐車調査



駐車調査を集計すると

- 駐車場の状況がわかります^①
- 駐車場の状況がわかります^②
- 【駐車場の位置】^③
- 【路上駐車状況】^④
- 【駐車料金】^⑤ など

新・道路交通センサスの調査結果を集計すると、道路や道路交通の状況、自動車の運行状況、駐車場の状況が、平日・休日別にわかります。調査結果は、地域の状況の分析、将来需要の予測、ライフスタイルの把握などに活用され、将来のニーズに合わせた道づくりが行われます。

道づくり

新・道路交通センサス

道路や道路交通の状況を全国的な規模で調査します

●全国規模の調査だから
●継続しているから
●さまざまな項目について調査しているから

新・道路交通センサスを用いて種々の分析が行われています

将来のニーズに合わせた道づくり計画を策定します

※印は、今頃から新たに始まるもの

一般交通量調査

交通量調査では

調査地点を通過する交通量を

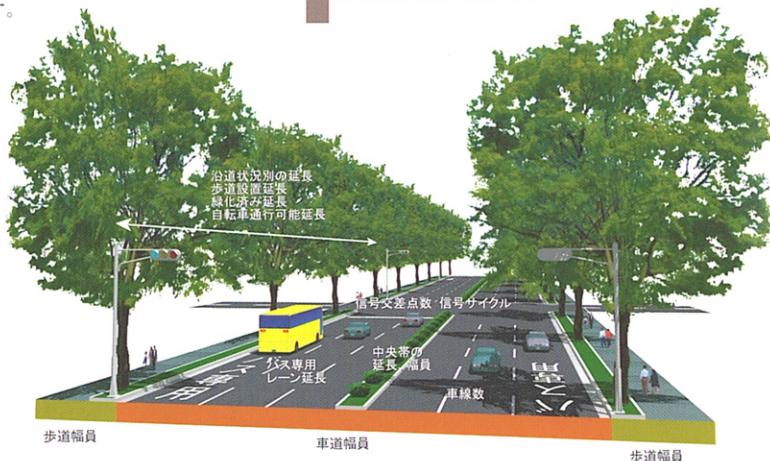
- 車種別に
- 時間帯別に
- 方向別に

朝7時から夕方7時までの昼間12時間、一部の箇所では、朝7時から翌朝7時（休日は朝3時から翌朝3時）までの24時間を測ります。

旅行速度調査では

朝または夕方に、実際に自動車で行き、調査区間の通過所要時間を測り、旅行速度を求めます。

道路状況の調査では



沿道状況別：道路沿道の土地利用状況を人口集中地区、その他市街部、平地部、山地部に区分します。

……などを調べます。

機能調査

機能調査では

- 交通拠点（鉄道駅、空港、港湾）
- 医療福祉施設
- 警察署、消防署等の施設
- 文化・教育施設
- 観光地
- 商・工業施設
- 土地利用状況
- バス路線 などの位置や規模を調べます。



自動車起終点調査 (OD調査)

オーナーインタビューOD調査では

車の所有者や使用者に対し、車の使い方についてアンケート方式で調査します。



路側OD調査では

一部の県境等を横切る道路で自動車を道路脇に止めていただき、運行状況を聞き取り方式で調査します。



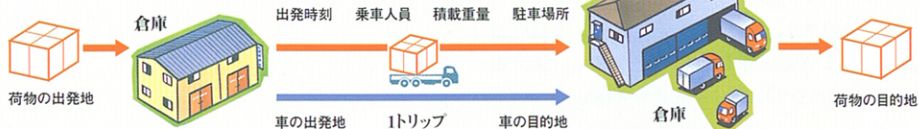
OD調査：車の移動に関する起点(Origin)及び終点(Destination)の調査のことで、起終点調査ともいわれます。

■主な調査内容

【乗用車の場合】



【貨物車の場合】

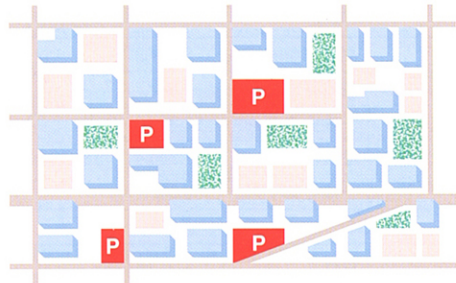


トリップ：出発地から到着地へ移動することをいいます。家から直接お店へ行くと1トリップ、家から郵便局へ行って、さらにお店へ行くと2トリップになります。

駐車調査

駐車需要が多い地域や駐車問題が生じている地域の

- 駐車場の位置
 - 路上駐車状況
 - 駐車台数
 - 駐車料金
- などを調べます。



道路交通センサスの変遷

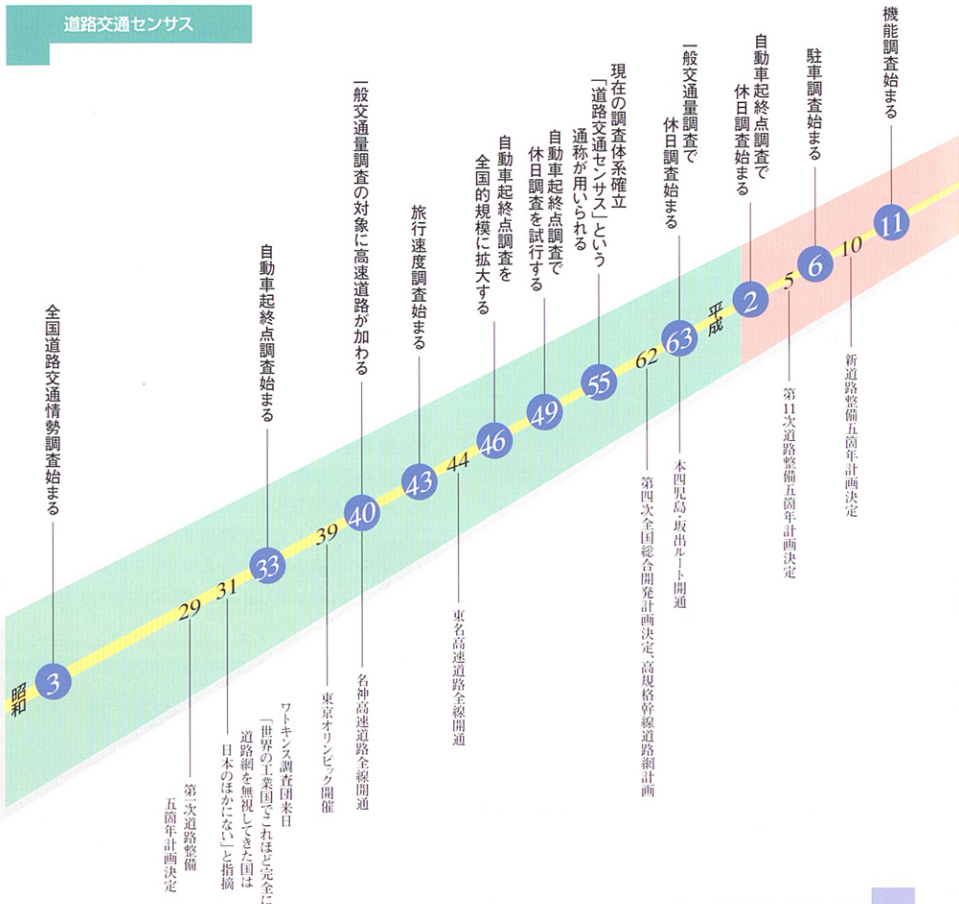
道路交通センサスは、国道および指定道府県道における交通量と道路状況について、道路改良会が昭和3年に調査を行ったのがその始まりです。

その後、同調査は内務省土木局により昭和8年、13年に行われ、第2次世界大戦による中断をはさんで、昭和23年に建設省道路局・都市局によって再開され、現在に至っています。昭和55年度以降は5年ごとに実

施され、5年間の中間年には、データを補完するため、一般交通量調査のみ行われています。

平成6年度調査では、新たなニーズに対応するため、物流の高度化、適切な輸送体系の確保、駐車場に関する調査が加わりました。

平成11年度調査では、道路の機能に関する調査が加わりました。



できごと